

産官学連携による情報セキュリティ人材育成

～幅広い教養と豊かな情操を基盤にして、高い情報技術・倫理観を持ち、
サイバー空間を「自由、公正かつ安全」に創出・発展させる人材育成プログラムの研究～

近年のサイバー空間を取り巻く環境の急速な変化や深刻化するリスクを受けて、「将来の情報セキュリティ人材」の育成・確保が国にとって急務である。

このような状況のもと、将来、サイバー犯罪捜査官、企業情報管理担当者、ホワイトハッカー等、情報セキュリティ分野で活躍することができる高い情報技術と倫理観を持った人材を発掘・育成するため、本分野で主導的かつ卓越した取組を進める先進IT企業、京都府警察本部サイバー犯罪対策課及び京都大学学術情報メディアセンター、立命館大学情報理工学部との産官学連携によるプログラムを研究開発する。

将来のサイバー犯罪捜査官、企業情報管理担当者、 情報処理技術者、ホワイトハッカー等



情報に関する専門学科：「情報科学科」

課題解決に積極的に取り組み、その成果をもって社会貢献できる人材の育成	情報活用能力・コミュニケーション力・プレゼンテーション力・リーダーシップ・英語力	○学校設定科目「スーパープロフェッショナル・ラボ」設置 ○グローバル企業・大学等との連携 ○地域住民対象の高校生講師による講習会
高い情報技術・倫理観を持った将来の情報セキュリティ人材の育成	情報技術・知識・論理的思考力 倫理観・職業観・進路意識	○サイバーセキュリティトレーニング ○プログラミング競技会 ○セキュリティ競技会 ○デザイン技術習得 ○情報処理技術者試験 ○「情報倫理」「法やルール」に関する学習 ○警察学校訪問 ○大学訪問 ○最先端技術施設訪問 ○講演会
e-Learning System等を用いた主体的・自発的に学習に取り組む態度の育成		○e-Learning Systemとe-Learning Management Systemを利用した授業、講習会、スキルアップ塾 ○情報処理部活動拡張・深化 ○各種コンテスト・発表会参加 ○各種資格取得奨励 ○情報関連図書常設

新しい学びや実績の積極的広報及び
全国専門学科「情報」設置校への研究成果の普及

○プログラミング競技会及びセキュリティ競技会の全国大会の企画・運営（全国産業教育フェア等で全国専門学科「情報」連携）
○自主作成教材の全国への普及

産官学連携先



京都大学学術情報メディアセンター
Academic Center for Computing and Media Studies, Kyoto University

- 研究に対する総括的指導・助言
- セキュリティ技術講義・指導、セキュリティ競技会運営協力
- 教員研修協力
- e-Learning System, e-Learning Management System 構築連携
- 近畿地域大学等情報工学関係学部の大学訪問や学生との連携授業



立命館大学
情報理工学部



京都府警察

- 倫理観・職業観を育成する講義
- セキュリティ競技会運営協力
- セキュリティに関する学習支援



とも連携

【情報関連企業及び機関等】

- IPAの情報モラルに関する講義
- 先進IT企業との連携授業
- グローバルIT企業の情報技術に関する講義等（WEB会議等による英語プログラミング実習）
- 最先端技術研究施設訪問
- 「京都の力」企業との連携授業・教員研修